

効果的な感染症予防のコツは？



インターネットサイトでも
解説しています



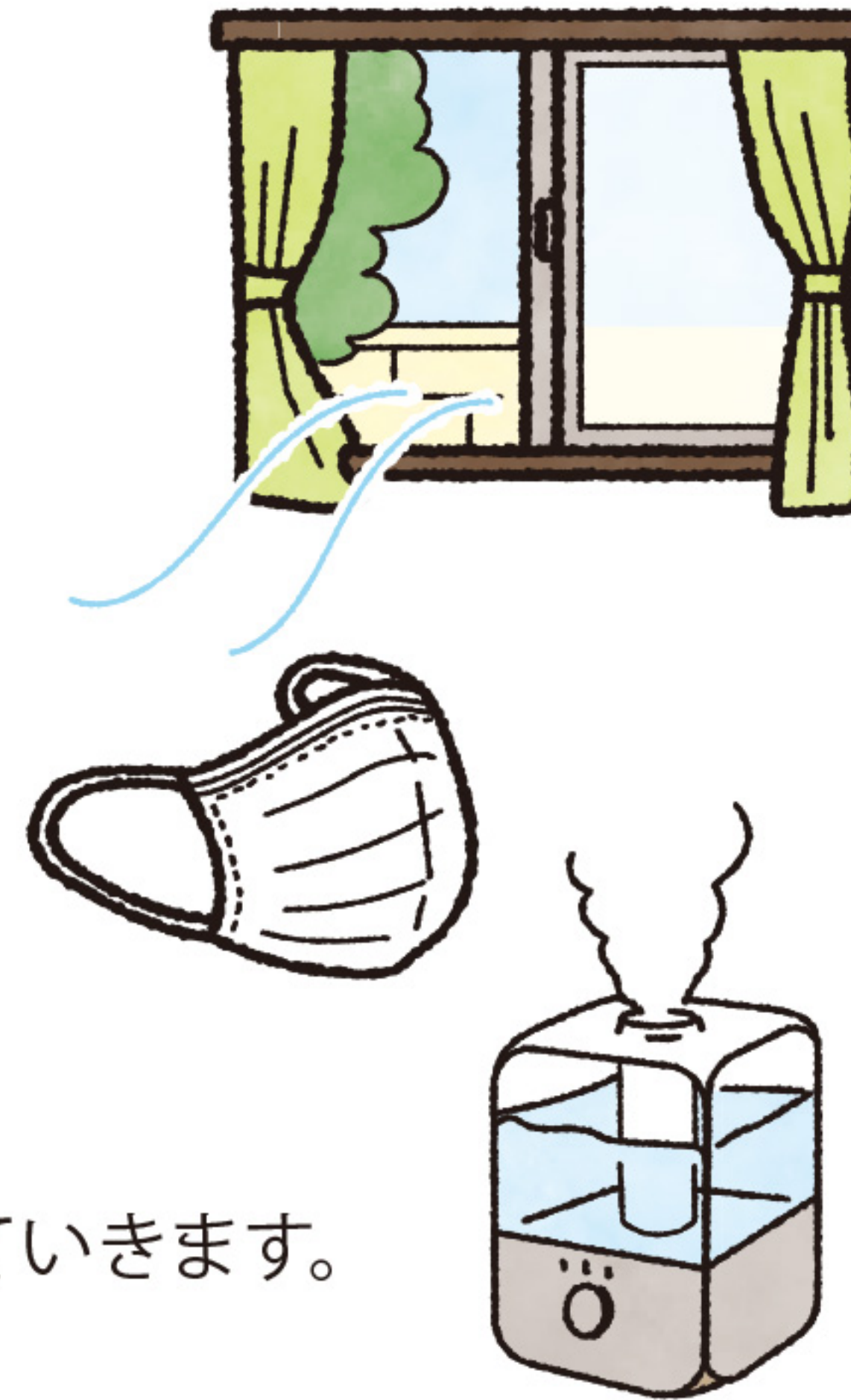
密な状態での感染症対策

密を避けることは大前提ですが、日常生活において密が避けきれないことは想定すべきです。
密の場合は「飛沫対策」と「空気の拡散対策」をおこないます。

飛沫対策はマスクの着用、マスク会食、パーティション設置などで対策します。(飛沫が一番の感染経路)

空気の拡散対策は、換気、加湿器、空気清浄機、空調などで対策します。(空気を拡散させず流れを読む)

Wで考えていくことで密が避けられない状態での感染症対策をしていきます。もちろん、これで感染阻止できるということではありません。



マスクはフィルターだ！

さすが日本！皆さん、欠かさずマスクをされていますが…
マスクはフィルターだと気付いていますよね？

フィルターはこまめな交換、洗浄、消毒、除菌が必要です。
感染リスクが高ければ高いほど、こまめに行う必要があります。



マスクは次亜塩素酸水50ppmでしっかり除菌！

人混みに居る場合：10～30分に1度程度、マスクの裏表をシュッシュ

マスク会食する場合：食後に裏表をしっかりシュッシュ

外出時：1～2時間に一度、マスク裏表をシュッシュ

外出から帰ったら：食後に裏表をしっかりシュッシュ

1日の終わり：洗濯もしくは裏表をしっかりシュッシュ

次亜塩素酸水を携帯していれば、マスクもしっかり除菌できます。

*外したマスクをテーブルや洗面台の上に安易に置かないようにしましょう

次亜塩素酸水を持ち歩こう！

可燃性、揮発性を持たない次亜塩素酸水50ppmは携帯にピッタリ！

マスク・手指など、いつでもこまめにシュッシュすることで感染予防します。

手すり、ドアノブ、壁、つり革…コロナウィルスは至る所に付着しています。
感染リスクが高い時期は、気付いたらシュッシュする習慣を付けましょう。

*次亜塩素酸水が手荒れしやすいというのはデマです



次亜塩素酸水の空間噴霧は効果を出す使い方をしよう！

空間噴霧にしっかり期待出来ること

- 人が居なくなったときに最大の除菌チャンス！
- 湿度を上げることで気管支に優しくなる
- 飛沫の空間浮遊を防ぎ、ウィルスを床に落としやすい
- 静電気の発生を和らげ、付着を少しでも減らす
- 加湿器肺炎リスクを無くす
- 花粉症対策などと併用できる

空間噴霧に期待をしないこと

- 飛沫に次亜塩素酸水のみをぶつけて、ウィルスを不活性化する
- 室内のウィルスが無くなる
- 密になっても大丈夫

風邪対策として、加湿の重要性は皆さんもご理解されていると思います。
幼稚な発想で騒ぐデマを信じてはいけません。

*濃度は50ppm以下を厳守しましょう

